

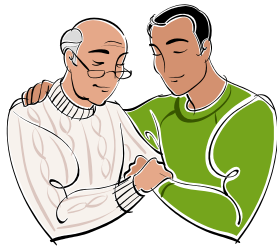
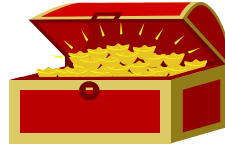
① はじめのおいのり、または、さんび (なるべくみんなが知っているもの)

② 礼拝説教に関係した短いお話し ・マタイ25の14～30

イエス様がたとえ話をされました。ある主人が、Aさんには5つの宝箱、Bさんに2つ、Cさんには1つ預けて旅にでかけました。Cさんの1つの宝箱でも、大人が20年間働いてもらうお給料ぐらいの沢山のお金です。Aさんは、少しでも、ご主人様に喜んでもらおうと、すぐにそのお金をつかって商売をはじめました。すると、さらに5つの宝箱分をもうけました。2つ預かった人も同様にしました。しかし、1つの宝箱を預かった人は、怠けて働かず、穴をほってそのお金を隠しておきました。

やがて主人が帰ってくると、Aさんは合計10個の宝箱をさしだして「ご主人様あなたは私に5つを預けて下さいましたが、さらに5つをもうけました。」Bさんも同じように言いました。すると、主人は大変喜んで「良くやった!!さあこれからは、もっと沢山のものを預けよう。一緒に喜ぼう」と言いました。しかし、1つを預かっていたCさんは「ご主人様、あなたはとってもケチで、厳しい方だと知っていました。だから、お金は地面に穴をほって隠しておきました、これがあなたから預かったお金です。」と言いました。すると、主人は怒って「悪い、怠け者の男だ、この男からそのお金を取り上げて、10こもっている人に与えなさい。そして、外に追い出してしまいなさい」と言われました。

神様は、私達に色々なものを預けて下さっています。神様が喜ぶ事の為に、それらを使う事を願っておられます。たとえば、私達はお話する“口”が与えられています。この“口”で、明るく挨拶する事も、優しい言葉をかける事も、お祈りする事もできます。また、私達には手と与えられています。この手で、おちゃわんを持っていたり、色々な人のお手伝いをする事ができます。私達は、神様が喜ぶ事の為に、自分の口や手、時間を使う人になりましょう。



③聖書の言葉を2回告白しよう。

それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの

よ かんりしゃ たまもの もち たが つか あ  
良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。

だい I ペテロ4の10

④チャレンジしよう

あなたは、自分の口や、手をつかって、どのようなことをしていきたいですか。

- ①あかるく、いろいろなひとに あいさつする
- ②さみしそうな人などに、でんわや、メールをする。
- ③びょうきの ひとのために おいのりをする。
- ④そのほか、じぶんで かんがえたこと



※じぶんで、きめたことが できたら したに○をしよう

できた！！

